

問1 日本の古代における文化の変遷について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。なお、古代の政治と暮らしを対比させた資料によると、律令政治が確立した時期から、文字の使用状況に大きな変化が見られたことが示されています。 (2020年 滋賀公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|--|
| <p>1. 奈良時代には遣唐使によって唐の優れた文化が伝えられ、正倉院の宝物に代表されるような国際色豊かな文化が栄えた。その後、平安時代には日本人の生活に合わせた国風文化が発達し、かな文字が広く使われるようになった。</p> | <p>2. 飛鳥時代にはかな文字を用いた和歌が広く親しまれ、奈良時代になると聖徳太子を中心に遣唐使が派遣されて、正倉院に納められるような大陸の仏教文化が日本に初めて伝えられた。</p> | <p>3. 奈良時代に菅原道真の建議で遣唐使が廃止されたことで、漢字を捨ててかな文字のみを用いる国風文化が誕生し、平安時代には正倉院に見られるような国際的な仏教文化が全盛期を迎えた。</p> | <p>4. 飛鳥時代から始まった国風文化は、奈良時代の遣唐使の往来によって国際的な要素を取り入れて洗練され、平安時代に入るとかな文字の普及によって正倉院の建築様式に大きな影響を与えた。</p> |
|--|--|---|--|

問2 12世紀後半、武士として初めて太政大臣となった平清盛は、現在の神戸市にあたる大輪田泊を修築し、瀬戸内海の航路を整備しました。清盛がこのように港や航路を整えてまで積極的に行動した貿易の相手国である、当時の中国の王朝名を次の中から選びなさい。 (2019年 香川公立入試 類似)

- | | | | |
|------|------|------|------|
| 1. 唐 | 2. 宋 | 3. 元 | 4. 明 |
|------|------|------|------|

問3 8世紀から9世紀にかけての日本および世界の情勢に関する記述として、最も適切なものを選びなさい。 (2016年 大分県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|---|
| <p>1. 日本では墾田永年私財法によって土地の私有が認められるようになり、その後平安京への遷都を経て、大陸の情勢変化を受け遣唐使が廃止された。</p> | <p>2. 卑弥呼が中国の魏に使いを送った時期と同時代に、イスラム教が成立し、それを受けて日本は平安京への遷都を決定した。</p> | <p>3. 新羅が朝鮮半島を統一したのと同時代に、日本にはじめて稲作が伝来し、その記念として遣唐使の派遣が始まった。</p> | <p>4. フランス革命や産業革命などの資本主義の動きが活発化した時期に、日本では平安京の建設が行われ、遣唐使が盛んに派遣された。</p> |
|--|---|--|---|

問4 11世紀後半の日本では、それまで長く続いた摂関政治に代わり、天皇が位を退いてからも「上皇」として引き続き政治の実権を握る新しい政治形態が始まりました。この政治を始めた人物として正しいものは誰ですか。 (2025年 岡山公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 白河天皇 | 2. 聖武天皇 | 3. 桓武天皇 | 4. 持統天皇 |
|---------|---------|---------|---------|

問5 平安時代中期の11世紀、摂政を務めた藤原頼通によって建立された建築物について、その背景と目的を説明したのとして最も適切なものはどれか。 (2022年 鳥根公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|--|
| <p>1. 末法思想の広がりにより、死後に極楽浄土へ生まれ変われることを願う浄土信仰が流行したため、その世界を地上に再現しようとした。</p> | <p>2. 平氏による南都焼討からの復興を願い、東大寺の再建とともに大仏殿の修復を行うことで権力を示そうとした。</p> | <p>3. 室町幕府の足利義満が、北山文化を象徴する豪華な別荘として、一階を寝殿造、三階を禅宗様として建築させた。</p> | <p>4. 聖武天皇が仏教の力で国を治めるため、全国に国分寺・国分尼寺を建立し、その総本山として都に巨大な寺院を築いた。</p> |
|---|--|---|--|

問6 10世紀から11世紀にかけての日本の文化において、漢字を簡略化して作られ、貴族の生活や感情を自由に表現することを可能にした文字と、その文字を用いて執筆された文学作品の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2023年 福岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|------------------------|------------------------|--------------------------|------------------------|
| 1. かな文字 — 『源氏物語』や『枕草子』 | 2. 万葉仮名 — 『万葉集』や『日本書紀』 | 3. ハングル — 『奥の細道』や『曾根崎心中』 | 4. カタカナ — 『徒然草』や『平家物語』 |
|------------------------|------------------------|--------------------------|------------------------|

問7 日本の歴史において、平将門の乱が起きた後の935年から、鎌倉幕府が成立する1192年までの期間（11世紀初め）に、紫式部によって執筆された文学作品として正しいものを次から選びなさい。 (2016年 茨城県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|--------|---------|---------|
| 1. 源氏物語 | 2. 枕草子 | 3. 土佐日記 | 4. 平家物語 |
|---------|--------|---------|---------|

問8 平安時代の「国風文化」が栄えた時期に普及した「浄土信仰」について、その内容と背景を説明したのとして最も適切なものを次から選びなさい。 (2019年 熊本県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|---|
| <p>1. 末法思想による社会不安を背景に、阿弥陀如来を信じることで死後の救済を求めた。</p> | <p>2. 鎮護国家の思想に基づき、天皇が仏教の力で国の災害や疫病を防ごうとした。</p> | <p>3. 座禅によって自ら悟りを開くことを重視し、新しい文化を担った武士に支持された。</p> | <p>4. 厳しい山岳修行を通じて超自然的な力を得て、現世での幸福を実現しようとした。</p> |
|--|---|--|---|

問9 平安時代初期、遣唐使として中国の唐へ渡って仏教を学び、帰国後に比叡山延暦寺を拠点として天台宗を広めた僧侶は誰ですか。 (2020年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 最澄 | 2. 空海 | 3. 鑑真 | 4. 行基 |
|-------|-------|-------|-------|

問10 平安時代後期、白河天皇は天皇の位を譲って上皇となった後も、それまで有力貴族が独占していた政治上の実権を自らの手に取り戻そうとした。このように、上皇が摂政や関白の力を抑えて直接政治を行う体制を何といいますか。 (2024年 愛知公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|---------|---------|---------|
| 1. 院政 | 2. 摂関政治 | 3. 武家政治 | 4. 律令政治 |
|-------|---------|---------|---------|

問11 12世紀半ばに京都で起きた保元の乱や平治の乱は、その後の日本社会のあり方を大きく変える契機となりました。これらの戦いにおいて、武士が朝廷内部の権力争いに動員されたことが政治に与えた影響として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 広島公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|---|
| <p>1. 朝廷内部の対立を解決するために武士の武力が不可欠となり、武士が政治の実権を握るきっかけとなった。</p> | <p>2. 武士は朝廷から完全に独立し、地方の豪族を保護するための独自の自治組織を全国に広めた。</p> | <p>3. 朝廷は武士の武力を危険視し、武士をすべて農業に専念させて政治に関与させない仕組みを構築した。</p> | <p>4. 武士は有力な寺院や神社の勢力を抑制することに専念し、貴族に代わって宗教行事を司るようになった。</p> |
|--|--|--|---|

問12 歴史博物館の展示において、日本の原始・古代の締めくくりとして紹介される重要な出来事に「794年の遷都」があります。奈良の平城京から都を移し、現在の京都市にあたる平安京を築いた天皇は誰ですか。 (2014年 愛媛公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 聖武天皇 | 2. 桓武天皇 | 3. 天智天皇 | 4. 推古天皇 |
|---------|---------|---------|---------|

問13 鎌倉時代後期に幕府が田地の調査を実施した背景として、最も適切な理由を説明しているものはどれですか。 (2022年 東京都公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|---|
| <p>1. 元寇による国防上の危機に対応するため、軍役や兵糧米の負担基準となる土地を把握する必要があったから。</p> | <p>2. 公地公民の原則を徹底し、すべての土地を天皇のものとして農民に等しく分け与えるため。</p> | <p>3. 武家諸法度を制定するにあたり、大名たちの所領の境界線を明確にして紛争を未然に防ぐため。</p> | <p>4. 地租を金納に改めることで、貨幣経済の普及に対応した安定的な税収を確保するため。</p> |
|---|---|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 奈良時代には遣唐使によって唐の優れた文化が伝えられ、正倉院の宝物に代表されるような国際色豊かな文化が栄えた。その後、平安時代には日本人の生活に合わせた国風文化が発達し、かな文字が広く使われるようになった。	奈良時代は、遣唐使によってもたらされた唐の文化や、シルクロードを経由した西アジア・インドなどの影響を強く受け、聖武天皇の遺品などが納められた正倉院の宝物に見られるような国際的な天平文化が栄えました。続く平安時代には、遣唐使の停止などをきっかけに、日本の風土や生活感覚に合わせた国風文化が発達しました。その過程で、漢字を簡略化した「かな文字」が考案され、物語や日記などの文学が発展しました。
問2	答え 2 宋	平清盛は、平安時代末期に日宋貿易を推進することで平氏の経済的基盤を固めました。当時、貿易の拠点として大輪田泊（現在の兵庫県神戸市）を整備し、瀬戸内海の航路を確保することで、宋から輸入される銅銭（宋銭）や陶磁器、香料などを手に入れ、絶大な権力を握る背景となりました。
問3	答え 1 日本では墾田永年私財法によって土地の私有が認められるようになり、その後平安京への遷都を経て、大陸の情勢変化を受け遣唐使が廃止された。	8世紀の奈良時代には墾田永年私財法によって私有地である「荘園」が生まれるきっかけが作られました。その後、794年に平安京へ都が移り、9世紀末の894年には、唐の衰退や日本独自の文化の発展（国風文化）を背景として遣唐使が廃止されました。フランス革命や資本主義の台頭は18世紀以降の近代の出来事であり、古代の日本史とは時期が大きく異なります。
問4	答え 1 白河天皇	1086年に白河天皇が幼い堀河天皇に位を譲り、上皇となった後も「院」において実権を握り続けたことが院政の始まりです。これにより、天皇の外戚として権力を振るっていた藤原氏（摂関家）の影響を抑える狙いがありました。聖武天皇は奈良時代の東大寺建立、桓武天皇は平安京遷都、持統天皇は飛鳥時代の藤原京遷都で知られる人物です。
問5	答え 1 末法思想の広がりにより、死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う浄土信仰が流行したため、その世界を地上に再現しようとした。	藤原氏の権勢が絶頂期にあった平安時代中期、仏教の教えが衰える「末法」の時代が来ると信じられ、人々の間で浄土信仰（極楽往生を願う信仰）が急速に広まりました。藤原頼通は、父・道長から譲り受けた別荘を寺院に改め、阿弥陀如来を本尊として祀ることで、経典に描かれる華麗な極楽浄土の様子を視覚的に表現しました。
問6	答え 1 かな文字 — 『源氏物語』や『枕草子』	この時期、漢字を崩したり一部を取ったりして作られた「かな文字」が広く普及しました。これにより、漢文では表現しにくかった微妙な感情や宮廷生活の様子を表現できるようになり、紫式部による物語文学や清少納言による随筆など、日本文学の傑作が数多く誕生しました。
問7	答え 1 源氏物語	11世紀初め、藤原道長が権勢を誇った平安時代中期に、宮廷に仕えていた紫式部によって『源氏物語』が執筆されました。この時期は国風文化が全盛期を迎え、かな文字を用いた女流文学が数多く誕生しました。選択肢にある『枕草子』は清少納言による随筆、『土佐日記』は紀貫之による日記文学、『平家物語』は鎌倉時代に成立した軍記物語です。
問8	答え 1 末法思想による社会不安を背景に、阿弥陀如来を信じることで死後の救済を求めた。	浄土信仰が広まった背景には、貴族の権力争いや社会の混乱から生じた「末法思想（仏教の教えが正しく伝わらなくなる時代が来るという考え）」があります。これまでの仏教が「国を守るため」だったのに対し、浄土信仰は「個人の死後の救済」を目的としており、阿弥陀如来を信仰することが最大の特徴です。座禅を重視したのは後の鎌倉新仏教である禅宗です。
問9	答え 1 最澄	804年に最澄は遣唐使とともに唐へ渡り、翌年帰国して天台宗を伝えました。比叡山に建てられた延暦寺は、その後の日本仏教において多くの名僧を輩出する修行の場となりました。同時期に真言宗を伝えた空海と並び、平安仏教の礎を築いた人物です。
問10	答え 1 院政	白河天皇は1086年に幼い天皇に位を譲った後、自らは上皇として政治の実権を握りました。これは、藤原氏が代々務めてきた摂政や関白といった官職の枠組みから離れることで、藤原氏の影響力を弱め、皇室主導の政治を行うことが目的でした。
問11	答え 1 朝廷内部の対立を解決するために武士の武力が不可欠となり、武士が政治の実権を握るきっかけとなった。	11世紀半ばの東北地方での戦いなどは、主に地方の反乱鎮圧が目的でしたが、12世紀の保元の乱や平治の乱では、天皇や上皇、貴族同士の対立を解決するために武士の力が直接利用されました。これにより、政治的な決着をつけるためには武力が不可欠であることが明らかになり、武士の政治的地位が急速に高まって平氏政権の誕生へとつながりました。
問12	答え 2 桓武天皇	奈良時代末期の政治の乱れを立て直すために、784年の長岡京遷都に続き、794年に山背国の平安京へと都を移しました。この遷都から鎌倉幕府が成立するまでの約400年間は平安時代と呼ばれます。聖武天皇は奈良時代の平城京で大仏を建立した天皇であるため、混同に注意が必要です。
問13	答え 1 元寇による国防上の危機に対応するため、軍役や兵糧米の負担基準となる土地を把握する必要があったから。	モンゴル帝国の襲来（元寇）を受け、幕府は御家人に対して異国警護番役などの軍役を課しました。これらの軍事費を確実に調達し、防衛体制を整えるためには、田地の広さや収穫量を正確に調査して課税の基礎を固める必要がありました。